

## 編集後記

---

「コミュニケーションから見たヘルス ～今さら聞けない、でも気になる関係～」というテーマの下、平成 27 年 9 月 5・6 日に西南学院大学で開催された学術集会終了後、直ちに口演・ポスターで発表した方々に学会誌への投稿の意志の有無についてお尋ねしたところ、10 名を超える発表者から「予定あり」のお返事をいただきました。しかし、期限内に提出された論文は原著論文が 3 本、実践研究が 1 本に留まりました。査読の結果、程度の違いはあるもののすべての論文が再査読となり、それぞれの著者に返却されました。

原著論文のうち 1 本が再々査読の段階で取り下げられ、他の論文は査読後再送されずに終わってしまいました。その結果掲載可の評価を受けていた実践研究 1 本のみが最後まで残り、ここに掲載されるというこれまでにない寂しい学会誌の発行という結果です。編集責任者としては再度論文を募集したり、過去の学会誌に投稿したが再査読後の修正が未完の論文の再投稿なども検討しましたが、一定の質を保ち、公平性を確保するには「あるがまま」の学会誌発行が最善という判断の下、現在の形にたどり着きました。

査読、再査読の依頼に対して快く引き受けてくださった先生方にこの場を借りてお礼申し上げます。今後、学会誌が質、量の両面で読者の皆様方の研究に対する関心や意欲を引き上げられるようなものになるよう期待するとともに、プログラム委員として微力ながら尽力できるよう努めます。